

Ryu's Paper

リュウズ ペーパー

龍華図書館

2022年3月1日

3月号(隔月発行)

Vol.27

3月に入り、厳しい寒さもわずかに和らいできました。季節の変わり目ですので、体調管理には十分気をつけてください。さて今回の「図書館でめぐる郷土～八尾市史編～」のテーマは『検地と史料が語る八尾』です。近世の「村」の歴史を読み解くにあたって重要な手がかりとなる年貢関係史料。幕藩領主の下で農業を生業にする村々では、毎年数多くの年貢関係文書が発生しました。市域に残された史料から、近世八尾のどのような姿が読み取れるのでしょうか。

シリーズ
図書館でめぐる郷土
～八尾市史編～

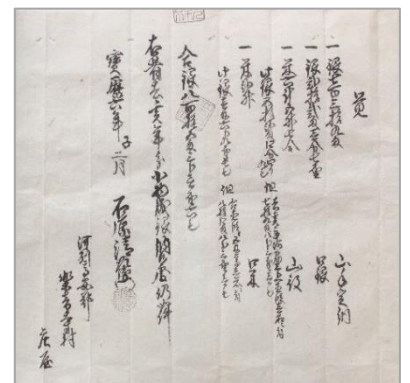
第二十七回 『検地と史料が語る八尾』

江戸時代における領主と村の最も基本的な関係は、年貢の徴収と上納の場面に現れます。江戸時代の領主が徴収する年貢は、個別の百姓に課されるものではなく、村を単位として年貢高が決定されていました。この年貢高の基準となったのが、検地によって決定されていた村の石高こくだかです。検地は、全国を統一した豊臣秀吉によって実施された「太閤検地」が起点であり、土地を全国的に同じ基準で測量して等級を決めていきました。以降、全国の村々の生産力が数値(石高)で示せるようになります。八尾・柏原地域では1594年(文禄3年)に行われ、また江戸時代に入ると1612年(慶長17年)、1678年(延宝6年)、1679年(延宝7年)にそれぞれ検地が行われ、この時の「延宝検地帳」が残されています。

領主から村へ割り付けた年貢高を通達する「年貢免状」ねんぐめんじょうや、村役人から百姓へ年貢を割り付けた際に作成される「小割帳」こわりちょう、年貢を皆済(完納)した際に領主から発行される「皆済目録」かいさいもくろく(右下写真)など、市域にも多くの年貢関係史料が残されています。ここではそれらの史料のうち、河内地域の農作物の柱であった「綿」にまつわる史料を『新版八尾市史 近世史料編 1』から紹介したいと思います。まずは「河内国^{かわちのくに}_{しづかわぐん} 湊川郡久宝寺村田畑植附帳」かわけのくにしづかわぐんきゅうほうじむらでんばたうえつけちょうです。植附帳とは、毎年作物の植え付けが完了する時期に村から領主へと提出されるものです。1745年(延享2年)の久宝寺村で作成されたこの植附帳では、村の耕地を田地と畑地に二分し、そこに植え付けられた作物の内訳を示す記載方法をとっています。この史料で注目すべきは、畑高のうちの約96%が木綿作であり、加えて地目が「田」と分類されている土地であっても、災害等のリスク分散の観点から、あえて木綿が作付されている点にあります。田高のうちの約54%が木綿作だったことから、河内国が木綿作りに特化した土地であったことが窺えます。次に「稲・木綿痛毛損亡につき^{いね きわたいたげそんもう} 湊川郡八か村^{しづかわぐんはち} 届書」そんとけがきです。1793年(寛政5年)に湊川郡八か村の庄屋が、洪水による作物の被害状況を大坂代官に報告した届書で、綿については「桃(綿の実)が腐って落ちた」とあり、危機的な状態が訴えられていることがわかります。

以上のような年貢関係史料からは、近世の八尾の村や百姓が、いかにして農業という生業に臨み、年貢賦課という幕藩領主の要請にどのように対応したかを読み取る事ができるのです。

【右写真】河州高安郡楽音寺村小物成皆済目録
典拠元『新版八尾市史 近世史料編 1』



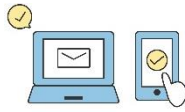
参考資料

- 『新版八尾市史 近世史料編 1』2017年7月 市史編纂委員会/編集
- 『百姓たちの幕末維新』2012年2月 渡辺尚志/著
- 『ふるさと高安』1988年3月 八尾市立高安西小学校/編集

3月のTopics & Information



-Topics



損してるかも!? 『順番予約』

図書館のホームページから資料を予約するとき、『順番予約』という機能をお使いになったことはありませんか？その名の通り、予約資料の取置の順番が指定できる機能です。

例えば、上下巻の小説をそのまま予約すると、下巻から先に届いてしまう可能性があります。上巻から先に確保されるように指定できるのが順番予約です。続きものの本を予約するときはとても便利ですが、場合によっては却って損になってしまうこともあります。

順番予約をすると1番目の資料が確保されない限り、2番目の資料は確保されません。既に予約が多く入っている人気本を1番目にすると、その本が確保されるまで2番目の本を待つこととなります。2番目の本がすぐに読める状況でも、順番予約で指定した取り置き順が繰り上がることはありません。続きものではない本を複数予約される場合は、順番を指定せず予約をするのがおすすめです。

本によって予約の方法を変えると、より便利に図書館をご利用いただけますので、ぜひ上手に使ってみてください。



-Information イベントのご案内

楽しくわかる終活講座

株式会社八光殿さんを講師に迎え、『終活』の始め方など、ゲームを交えて楽しく学びます！

- 日時… 2022年3月27日(日) 14時～15時30分
- 場所… 龍華コミセン3階 集会室
- 対象… どなたでも
- 定員… 28人(申込順)
- 申込… 2022年3月6日(日)9時から
龍華図書館カウンター、電話、FAXにて受付。



※新型コロナウイルスの感染状況により、イベントの日時の変更、または中止となる可能性があります。

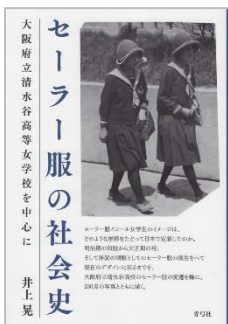
利用者アンケート回答受付中！

図書館のサービス向上のため、アンケートにご協力をお願いします。3月30日(水)まで回答受付中です。Webからの回答もできます。



左記のQRコードを読み取ってアクセスしてください。順番に回答し、最後に「送信」を押すと完了です。※5分程度で回答できます。

今月の一冊はコレ!



『セーラー服の社会史』

(資料コード:710694233)

著：井上晃 / 出版：青弓社



3月にはそれぞれの学校で卒業式が行われますね。「制服を着るのも今日が最後」と感慨深い気持ちになる方もいるかもしれません。最近テレビで、女子生徒もスラックスタイプの制服を着用できる学校が紹介されていました。制服のあり方や捉え方も新しくなりました。この本ではブレザーと並び、女子生徒の制服の定番であるセーラー服の歴史とデザインの変容を紹介しています。いつの時代も制服には、学生たちが、健やかな学校生活を送れるよう、作った人々の願いが込められています。

編集・発行

八尾市立龍華図書館 指定管理者 株式会社図書館流通センター

〒581-0056 大阪府八尾市南太子堂 2-1-45
TEL 072-922-8007 FAX 072-922-7057
ホームページ <https://yao-ryugelib.jp/>

Facebook

情報発信をしていますので、
いいね! してください。

